

設計図書等に対する質問

工事記号 NE 5  
 工事名 船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事

質 問 事 項	回 答
<p>1. 内訳明細に関しては工事設計書を参考にさせていただきませんが、資材数量等は図面資料より適正数量分を弊社にて計上させていただきます。工事設計書と数量、項目に差異が発生するという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>2. 図面番号：M-002 石綿含有建材について、本入札の見積りに調査費、及び処分費を含めると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>3. 図面番号：M-002 石綿含有建材について参考数量2m3との事ですがどの建材に含まれているか又は含まれていると見込んでいるかご教授願います。</p> <p>4. 図面番号：M-002 石綿含有建材について過去の調査状況、竣工時の建材情報等の情報が御座いましたらご提供願います。</p> <p>5. 図面番号：M-002 石綿含有建材について建材廃棄物の処理費用について上記の情報提供いかんでは参考数量の2m3から費用を見込む形になりますが、着工前の調査又は工事過程で発生した処分量が大幅に2m3を超過した場合は増減の対象となると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>6. 図面番号：M-002 室内空気中の化学物質の濃度測定について測定時期に記載の工事着手前と竣工終了時の両方を受注者が行くと読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>7. 図面番号：M-002 室内空気中の化学物質の濃度測定について</p>	<p>1. 工事設計書の数量は参考です。</p> <p>2. 機械設備工事 M-002 建設副産物の処理等の石綿含有廃棄物の項目は誤記となります。本工事において石綿含有建材の撤去及び処分はないものとし費用計上はしておりません。なお、大気汚染防止法に基づく調査は必要となります。</p> <p>3. 質問2の回答と同じです。</p> <p>4. 質問2の回答と同じです。</p> <p>5. 本工事において石綿含有建材の撤去及び処分はないものとし費用計上はしておりません。見込まれていない石綿含有廃棄物の処分が発生した場合は別途協議いたします。</p> <p>6. お見込みのとおりです。</p> <p>7. K-01 図を正とし、40 箇所×2 回/箇所=計 80 回</p>

<p>測定箇所数は監督員の指示によるとの記載で、工事設計書では72箇所となっており、K-01図では15系統それぞれ2回～4回で計38回となっており、38箇所×2回/箇所=計76回 と読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>8. 機器表記載の既設機器のメーカーを可能な限りご教授願います。また、情報が無い為検討できないのですが、既設メーカーが分からず入札に参加し、後に既設メーカーでないと更新不可となる機器等が判明した場合は増減の対象となるととらえて宜しいでしょうか。</p> <p>9. 撤去更新の機器に参考型番等の記載がありませんので、機器のグレード等の判断が出来かねます。機器表に注記がない物は標準グレードと読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>10. 図面番号：M-013 特記事項(4)発停用サーモ及び～自動制御工事との記載ですが、サーモ発停となるファンが御座いましたらご教授ください。計装図ですと全てRSとの記載の為該当なしかと思えます。</p> <p>11. 図面番号：M-009 薬液注入装置のブレードホースは機器表にSUS製と記載がありますが、取り扱いのあるメーカーが無く詳細が不明でメーカー側も見当が付かないとの事の為、PVC製で宜しいでしょうか。または型番をご指示願います。</p> <p>12. 図面番号：M-009 薬液注入装置PY-Gはブライン対応と記載がありますが、ブライン系統の機器ではなく又、ブライン対応の薬液注入装置との通称も詳細が不明でメーカー側も検討が付かないとの事なのですが誤記と判断して宜しいでしょうか。</p> <p>13. 図面番号：M-022 ブライン水循環ポンプについてブラインの条件が不明の為下記の条件として宜しいでしょうか。 不凍液： ナイブラインZ-1</p>	<p>とします。</p> <p>8. 一部既設機器メーカーについては下記のとおりです。【パッケージエアコン】ダイキン工業株式会社、【モジュールチラーユニット】東芝キャリア空調システムズ株式会社、【スクリーチラーユニット】株式会社神戸製鋼所、【可変風量制御装置】協立エアテック株式会社、【キュービクル】株式会社新愛知電気製作所、【動力盤・分電盤】株式会社因幡電機製作所、【非常放送アンプ】日本ビクター株式会社、【自動火災報知設備受信機】ニッタン株式会社。既設機器メーカーでないと機器等が更新不可となる場合は別途協議いたします。</p> <p>9. お見込みのとおりです。</p> <p>10. 該当はありません。</p> <p>11. お見込みのとおりです。</p> <p>12. ブライン対応との記載は誤記となります。薬液注入装置 PY-G は、PY-C、PY-H と同仕様とします。</p> <p>13. 現在施設で使用している不凍液はナイブラインNFPです。その他の条件はお見込みのとおりです。</p>
---	---

<p>濃度：ブラインチラー機器表より35wt%  温度：計装図より9.1℃</p> <p>14. 図面番号：M-030  新設のPACについて冷暖切替型の使用冷媒がR410Aの箇所とR32の箇所がございます。R410Aはリプレース型(更新型)ととらえて宜しいでしょうか。</p> <p>15. 図面番号：M-030  上記の質疑に付随して、リプレース型(更新型)の機器ではメーカーによっては配管洗浄や配管充填が室外機の機能で行えるものがございますが、平面図に記載の冷媒回収・配管洗浄・冷媒充填は別個で見込むとして宜しいでしょうか。</p> <p>16. 図面番号：M-030  新設のPACに関してR32冷媒の漏洩対策についてはPAC-107-1のみガス検知システムの記載がありますが。他は不要ととらえて宜しいでしょうか。必要な場合図面に記載願います。</p> <p>17. 図面番号：M-030  PACについてグレードが不明です、ハイグレードモデルや高COPモデルに該当しますでしょうか。</p> <p>18.  PACについて渡り配線は既設再利用かと思われますがどのメーカーであっても再利用可能と捉えて宜しいでしょうか。または渡り配線については全て撤去更新を見込むとの事でしょうか。</p> <p>19.  上記質疑で渡り配線の撤去更新を見込む場合、配線ルート上の天井解体や復旧は図面記載の解体範囲に入っていますでしょうか。または想定し見込んだ方が宜しいでしょうか。</p> <p>20. 図面番号：M-051、029  チャンバーリストに台数の記載のないFCR-1～3は更新なしとして宜しいでしょうか。</p> <p>21. 図面番号：M-047、048  ダクト系統図の通常線と細線の書き分けには意味がありますでしょうか。撤去更新範囲に見えますが平面図と食い違う箇所がございます。撤去更新範囲は平面図を正として宜しいでしょうか。</p> <p>22. 図面番号：A-16  中間期に1階のエリアで夜間工事が予定されています</p>	<p>14.  お見込みのとおりです。</p> <p>15  冷媒回収は撤去費にて、配管洗浄及び冷媒充填は据付費にて見込んでいます。</p> <p>16.  PAC107-1～8 についてはガス検知システムが必要となります。</p> <p>17.  特に記載のないものは高効率型とします。</p> <p>18.  渡り配線は既設再利用とします。</p> <p>19.  質問18の回答と同じです。</p> <p>20.  お見込みのとおりです。</p> <p>21.  書き分けはありません。撤去更新範囲は平面図を正とします。</p> <p>22.  建築工事図面A-16に記載されている夜間工事以</p>
--	---

<p>すが、記載の他に夜間工事として想定しているものが御座いましたら。ご指示願います。</p> <p>23. 図面番号：M-003 特記に角ダクトはアングルフランジダクトと記載ありますが、工事設計書が共板ダクトとなっております。工事設計書記載の共板ダクトを正として宜しいでしょうか。</p> <p>24. 図面番号：M-024 新設空調機に於いて「注記事項（14）分割搬入とする。」と記載がございますが。セクション分割搬入でしょうか全バラシ搬入でしょうか。</p> <p>25. 図面番号：M-104～M-107 SPヘッドの取り外し再取付と明記されておりますが消火ポンプを停止しての工事となると考えられます。代替え消火の有無が明記されておりません。必要なしとの理解で宜しいでしょうか。</p> <p>26. 図面番号：M-104～M-107 上記の質疑に関連して 取り外し、再取付との表記では既設ヘッドの再使用と読み取れますが、ヘッドの品質面の観点から新規ヘッドに取り換えると読み替えて見積をして宜しいでしょうか。 火災の際ヘッドが機能しなかった場合(又は漏水した場合)、責任の所在が曖昧となってしまったり(原因は元々か施工時か)、再使用に品質的な問題がないかの検査を消防から要求される可能性を考慮し、再使用は避けたいのですが如何でしょうか。</p> <p>27. 図面番号：M-104～M-107 上記の質疑に関連して ヘッドを新設とさせて頂ける場合型式をご教授頂けないでしょうか。</p> <p>28. 図面番号：M-104～M-107 上記の質疑に関連して 巻き出し配管(又はフレキ)は更新の必要はないでしょうか。 天井解体時の振動や衝撃また、ヘッドを取り外す際、供回りにより配管、フレキが痛む恐れがございますが如何でしょうか。</p> <p>29 工事設計書 工事設計書各項目に「家具什器備品移動・再設置」と記載がございますが詳細が不明です。移動対象物、</p>	<p>外はございません。</p> <p>23. アングルフランジダクトを正とします。</p> <p>24. セクション分割搬入とします。</p> <p>25. 設計では代替消火を見込んでおりませんが、施工前に改めて所管消防署と協議の上、必要となった場合は別途協議いたします。</p> <p>26. 設計では既設スプリンクラーヘッドを再利用するものとしていますが、再利用しない場合は別途協議いたします。</p> <p>27. 質問26の回答と同じです。</p> <p>28. 巻き出し配管(又はフレキ)は更新しないものとしていますが、施工の際に破損等した場合は別途協議いたします。</p> <p>29. ロッカーや厨房機器等の移動・再設置を想定しており、設計では15の施工エリア毎に内装工4</p>
--	--

移動場所等をご指示願います。

30. 図面番号：K-02、03

I期準備工事に於いて、工程表に「病院・病室什器移動期間」と記載ございますが、本工事との理解で宜しいでしょうか。本工事の場合、移動対象物、移動場所、作業条件（夜間工事）等をご指示願います。

31. 図面番号：設備図K-01、建築図K-01

設備配置図に「※交通誘導員：2名/搬出入日・回」と記載ございますが、建築配置図の項目集計表では系統毎の誘導員日数が決まっており204日と記載がございます。また工事設計書では204人と記載がございます。工期内の交通誘導員数は204人として宜しいでしょうか。

32. 工事設計書 p.135

FCU-2C台数について、工事設計書上は「8台」となっておりますが、平面図上は「7台」となっております。平面図上の台数を正としてよろしいでしょうか。

33. 工事設計書 p.160

放射線系統 換気設備機器の項目ですが、管理部門-03系統に属するファンが記載されております。工事範囲外での作業となりますが、工事設計書の通り、放射線系統に含めるとしてよろしいでしょうか。

34. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110

FCUについて機器表と平面図で台数が異なります。どちらが正でしょうか。

		機器表	平面図
FCU-2C	1F	24	23
	2F	21	22
	3F	20	22
	4F	22	22
	計	87	89
		機器表	平面図
FCU-4C	1F	8	8
	2F	0	0
	3F	1	0
	4F	2	2
	計	11	10
		機器表	平面図
FCU-6C	1F	22	22
	2F	14	14
	3F	14	14
	4F	10	12

名、軽作業員8名を見込んでおります。移動場所については施設管理者と協議の上、決定させていただきます。

30.

I期準備工事における病院・病室什器移動については施設管理者にて行うため本工事外です。

31.

建築工事K-01を正とし204人とします。

32.

機械設備工事M-29ファンコイルユニット機器表及び機械設備工事M108～110ファンコイルユニット部屋別数量表を正とします。

33.

お見込みのとおりです。

34.

質問32の回答と同じです。

	計	60	62	
		機器表	平面図	
FCU-6C	1F	22	22	
	2F	14	14	
	3F	14	14	
	4F	10	12	
	計	60	62	
<p>35. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  売店・事務所系統のFCU-2Cの台数について  ・相談室1～6で6台となっておりますが相談室6は倉庫に変わっておりFCUのプロットはございません。  その為記載は5台となっております。  ・倉庫に1台プロットがございますが、管理部門-02系統の範囲の為カウントが間違っていると思われる。</p>				<p>35.  質問32の回答と同じです。</p>
<p>36. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  2階南系統のFCU-2C及び3Cの台数について  ・スタッフステーション2では数量表では3Cが2台との記載ですが平面図では2Cが1台、3Cが1台プロットされています。</p>				<p>36.  質問32の回答と同じです。</p>
<p>37. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  2階北系統のFCU-2C及び3Cの台数について  ・スタッフステーション1では数量表では2Cが1台との記載ですが平面図では2台のプロットがあります。2Cが1台、3Cが1台が正だと思われます。</p>				<p>37.  質問32の回答と同じです。</p>
<p>38. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  3階南系統のFCU-2C及び3Cの台数について  ・準備室では数量表では3Cが1台との記載ですが平面図では2Cが1台、3Cが1台プロットされていません。</p>				<p>38.  質問32の回答と同じです。</p>
<p>39. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  3階北系統のFCU-2C及び4Cの台数について  ・ダイコーナ(数量書では5、平面図では3)では数量表では4Cが1台との記載ですが平面図では2Cが</p>				<p>39.  質問32の回答と同じです。</p>

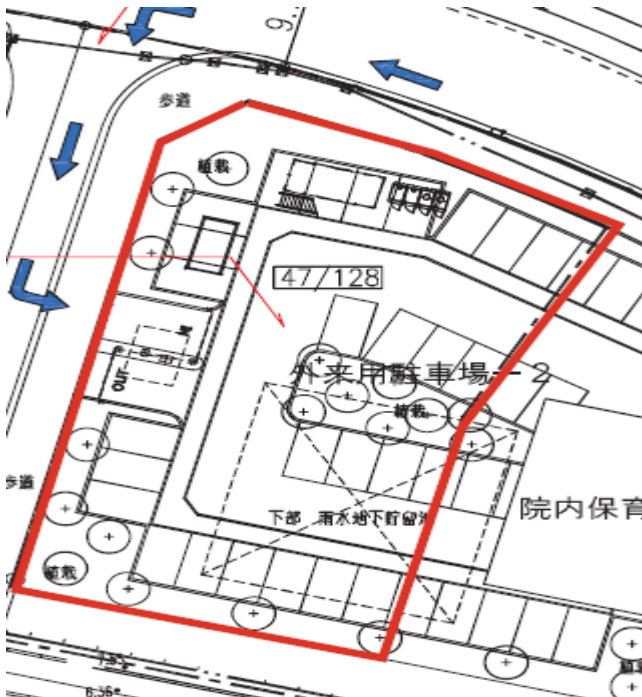
<p>1台プロットされています。</p> <p>40. 図面番号:M-029、M-061～M-068、M-108～M-110  上記質疑に関連して  下記は部屋別数量表と平面図の比較になります。  4階南系統のFCU-6C及び8Cの台数について  ・4床室432、及び4床室433について  数量表では8Cが1台との記載ですが平面図では6Cが1台プロットされています。</p> <p>41. 工事設計書 p.199  管理部門-03系統のファンについて、以下機器は工事範囲外に設置されているため、工事範囲外での作業となりますが、工事設計書の通り管理部門-03系統に含めるとしてよろしいでしょうか。</p> <p>42. 工事設計書 p.231他  2~4階北側・南側系統のファンコイルユニットについて、換気機器の項目にて計上されておりますが、1階と同様に空調機器の項目にて計上するとしてよろしいでしょうか。  また、付帯工事及びダクト・配管などについても上記同様と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>43. 工事設計書 p.323  FS-2-KIT及びFS-3-KITについて、工事設計書では4階南側系統の項目にて計上されておりますが、2階及び3階南側系統に属する機器と考えられます。  工事範囲外の作業となりますが、工事設計書の通り4階南側系統に含めるとしてよろしいでしょうか。</p> <p>44. 工事設計書 p.339  FE-1-MRIについて、工事設計書に記載ございませんが、他の床置ファンと同様に屋上の項目に含めるとしてよろしいでしょうか。</p> <p>45. 工事設計書 p.339  屋上の換気機器設備において、異なる工事エリアのファンが含まれております。  該当機器の更新中は使用が不可能となりますが、仮設の代替機などは不要と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>46. 図面番号:M-030、031  PAC特記事項(6)についてリモコン・集中リモコン配線は既設再利用として見込んで宜しいでしょうか。  異なる場合、計装図に記載がございませんのでご記載願います。</p>	<p>40.  質問32の回答と同じです。</p> <p>41.  お見込みのとおりです。</p> <p>42.  お見込みのとおりです。</p> <p>43.  お見込みのとおりです。</p> <p>44.  お見込みのとおりです。</p> <p>45.  設計ではエリアごとの工事時期に更新するものとして見込んでおり、仮設の代替機は不要とします。</p> <p>46.  お見込みのとおりです。</p>
---	---

<p>47. 図面番号：M-030、031 PAC 特記事項(6)について放射線系統の集中コントローラーの型番をご教授ください。</p> <p>48. 図面番号：M-030、031 PAC 特記事項(7)について内機、外機の渡り配線工事は自動制御設備工事との記載がございますが、冷媒配管の更新は機器直近のみの為渡り配線は再利用と考えられますが如何でしょうか。 「配線接続工事は自動制御設備工事」と読み替えて宜しいでしょうか。</p> <p>49. 夜間工事に該当する機器について、機器の現場搬入については日中でも可と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>50. 図面番号：M-021 冷却塔について特記事項(9)送風機は逆転防止機能付きとの記載がございますが、冷却塔が単独(1セル)の場合は逆転防止機能がなくても可として宜しいでしょうか。</p> <p>51. 図面番号：M-021 スクリーチャーユニットについて、屋内設置の為、冷媒漏洩の感知器及び連動する機械排気が必要かと思われませんが、記載が無い為、本工事外または設置済みと受け取って宜しいでしょうか。異なる場合、見積可能な資料等をご教授ください。</p> <p>52. 図面番号：M-027 ファンについて特記事項(7)に FE-1-DBA においても水抜き設置と記載がありますが、天井扇の為対応機器がないかと思われします。誤記でしょうか。また FE-1-USM が耐湿型キャビネットファンですが水抜きが該当外となっております。こちらが水抜き該当と読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>53. 図面番号：M-084、085 ファンコイルユニットの制御に関して、注記 1 に R をファンコイルメーカーに支給し組込みとの記載がございますが制御(1)の機器では子機が 0 台の為 TCF のみで制御可能と思われします。R は不要と考えますが如何でしょうか。</p> <p>54. 図面番号：M-084、085 上記の質疑に関して、制御(2-1)の機器では子機台数の記載が無い為、要不要判断できかねますが R は不要と読み取って宜しいでしょうか。</p>	<p>47. 放射線系統の集中コントローラーは、パナソニック産機システムズ株式会社の「CZ-10EST4B」を想定しています。</p> <p>48. お見込みのとおりです。</p> <p>49. 施設運営に支障のない範囲で可能ですが、詳細については別途協議いたします。</p> <p>50. お見込みのとおりです。</p> <p>51. 感知器及び連動については設計に含まれておりません。必要となった場合は契約締結後に別途協議いたします。</p> <p>52. お見込みのとおりです。</p> <p>53. リモコンは機器付属品ではなく自動制御設備リモコンを使用するため、Rは必要です。ただし、子機がある場合、子機側のRは不要です。</p> <p>54. 質問53の回答と同じです。</p>
---	---

<p>5 5. 図面番号 : M-084、085 上記の質疑に関係して、制御(2-2)の機器では子機の記載がございますので R は必要と読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>5 6. 図面番号 : M-084、085 上記の質疑に関係して、制御(3)の機器では子機の記載がございますが注記に R の記載がございません。R は必要と読み取って宜しいでしょうか。</p> <p>5 7. 図面番号 : M-029 ファンコイルユニットの機器表に電源仕様の記載がございません。100V 仕様としてよろしいでしょうか。100V でない場合ファンコイルに組み込む 2 方弁にトランスが必要となります為ご教授ください。</p> <p>5 8. FCU の機器表と計装図の台数及び設置場所等が食い違っております。平面図と機器表も食い違っている為精査できません。計装工事で見込む台数及び記号(2C や 3C) は計装図記載の内容で計上して宜しいでしょうか。</p> <p>5 9. 図面番号 : M-104 工事設計書 1F 各所のスプリンクラーヘッド取り外し再取付の図面が存在しますが、工事設計書に該当する項目がございません。(2F から 4F は項目あり) 項目を追加して宜しいでしょうか。 又、予定価格については項目はありませんが計上されていると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>6 0. 図面番号 : M-062~M-072 工事設計書 冷水、温水配管の数量について、工事設計書では冷温水配管との表記となっており平面図の冷水、温水の合算数量と比べおおよそ半分の m 数となっております。 工事設計書の m 数は足りないと思われませんが予定価格には平面図の m 数で含んでいるとの理解で宜しいでしょうか。</p> <p>6 1. 図面番号 : M-024 他、M-083、M-093 エントランスホール及びリハビリティシステムの空調機に設置される「INV 盤」について、特記(8)では盤及び配線工事は自動制御工事と記載がありますが空調機の機器表と自動盤リストで能力が異なっている部分があり、また盤リストでは更新対象外となっております。どの様に対応すれば良いでしょうか。</p>	<p>5 5. 質問 5 3 の回答と同じです。</p> <p>5 6. 質問 5 3 の回答と同じです。</p> <p>5 7. お見込みのとおりです。</p> <p>5 8. 質問 3 2 の回答と同じです。</p> <p>5 9. 1F 各所のスプリンクラーヘッド取り外し再取付に関しては予定価格に計上されていません。必要となった場合は契約締結後に別途協議いたします。</p> <p>6 0. 予定価格は設計書の長さとしています。m 数の変更が必要となった場合は契約締結後に別途協議いたします。</p> <p>6 1. 機器表を正とし、INV 盤は更新とします。</p>
---	--

6 2. 図面番号：K-03～K-09

仮囲い範囲については、以下の赤枠範囲が該当との理解で宜しいでしょうか。



※凡例にて明記されている、「線」がわかりにくく範囲等が判断できません。「仮囲い」以外の範囲も併せて御指示願います。

6 3. 図面番号：K-23～K-32

仮設間仕切りについて、材料費は「継続して使用可能」(各範囲施工終了後、材料は次の範囲でも使用可能)もしくは各範囲ごとに、新設⇒撤去どちらで計画されているのか御指示願います。

6 4. 図面番号：K-23～K-32

鋼製扉 (W900×H2000) と明記されておりますが「アルミ製」と読み替えて宜しいでしょうか。  
(鋼板製は非常に高価であるため)

6 5. 図面番号：A-20、A-108

外部仕上表 (2) 外部工作物「目隠ルーバー-1～3」にて

「有孔折版既製品、溶融亜鉛メッキ」  
「一部撤去、新設 (増設含む) 溶融亜鉛メッキ」  
上記のように明記されておりますが、詳細図では、「アルミルーバー」にて計画されております。  
どちらを正とすればよいのか御指示願います。

6 6. 図面番号：A-20

外部仕上表 (2) 外部工作物「目隠ルーバー-1～3」と明記されておりますが、「1～3」とはどのような意

6 2.

仮囲い (フラットパネル) の位置についてはお見込みのとおりです。凡例のその他仮設物の位置については別紙を参照としてください。なお、枠組み本足場等は建築工事図面K-08～13に記載されており、工事関係者通用口及び仮囲い (メッシュシート) の計画はございません。

6 3.

各範囲において新設、撤去として計画しております。

6 4.

設計では鋼製扉を見込んでおりますが、仮設間仕切り壁の扉として必要な強度や性能を満たしていれば、アルミ製でも差し支えないと考えております。詳細については別途協議いたします。

6 5.

「アルミルーバー」は誤記となります。「有孔折版既製品、溶融亜鉛メッキ」、「一部撤去、新設 (増設含む) 溶融亜鉛メッキ」を正としてください。

6 6.

「目隠ルーバー1～3」は誤記となります。「目隠ルーバー1」となります。

<p>味なのでしょうか御指示願います。</p> <p>67. 図面番号：A-20 外部仕上表(2) 外部工作物「目隠ルーバー-1~3」に明記されている、「有孔折版既製品」のメーカー及び参考型番を御指示願います。</p> <p>68. 1階工事エリアにて「夜間工事」と明記されておりますが具体的な施工時間帯(例：PM10:00~翌5:00)を御指示願います。</p> <p>69. 工事設計書 「工事設計書」建築工事の各見積項目に「家具什器 備品 移動・再設置」という項目があり金額が計上されております。 各項目に計上されている金額の根拠を御指示願います。</p>	<p>67. 設計では株式会社ABC商会の「有孔折板 AW UW4」程度で開口率50%のものを見込んでおります。</p> <p>68. 午後10時から翌朝6時の時間帯を夜間工事として計画しておりますが、詳細については施設管理者と協議の上、決定させていただきます。</p> <p>69. 質問29の回答と同じです。</p>
---	--